

2021 年度森泰吉郎記念研究振興基金 研究助成金
研究者育成費 成果報告書

「まちづくり協議会参加者のエンゲージメント向上手法の実施と検証」

政策・メディア研究科 修士課程 1 年 中村駿介

研究の背景

現在、先進的な企業においてビジネスインパクトの増大を目的にエンゲージメントの向上を図っていくという組織開発が普及している。本研究は、この概念と手法を住民自治組織の一形態である「まちづくり協議会」等の地域コミュニティに適用した際の有効性を検証し、この手法のプロセスに含まれる要因が、どのようにエンゲージメントの向上に繋がるかの理解を深める。得られた理解を基に、継続的に手法を磨き込むとともに、まちづくり協議会がどのように地域住民を巻き込んでいくべきかという次段階の研究に繋げたい。研究は、長崎県壱岐市に昨年設立されたまちづくり協議会に対して実際に組織開発手法を導入し、その成果を基に検証する。

現在までの研究の成果

本研究の鍵概念である「エンゲージメント」について、海外の先行研究を中心に調査を行い、JD-R モデル（仕事の要求－資源モデル）と呼ばれる理論的な枠組みや、調査票によるエンゲージメントの測定と可視化と操作化についての知見を深めてきた。2021 年 9 月には得られた知見からまちづくり協議会の参加者に対して行う 54 問の調査表を作成し、調査の施行を踏まえて、2022 年 1 月に長崎県壱岐市に設立されている 13 の協議会に対して調査を行い、384 件の回答を得た。（583 通の調査票送付に対して 66%の回答率）

現在は、統計解析の知見を深めつつ、得られたデータの分析とエンゲージメントの測定手法の開発に着手している。住民自治活動に対するエンゲージメント調査は先行事例がないと思われ、分析が完了すれば有意義なデータとなると思われる。また、今回の調査に対して、介入を行った後の状態を測定すべく、協議会に対する有力な介入手段であるワークショップを全協議会に対して実行するための準備に着手している。

謝辞

今回支給いただいた助成金は得られたエンゲージメントの調査データの分析環境の構築と介入施策としてのワークショップの実施に必要な物品の購入に使用させていただきました。この場をお借りして、感謝を申し上げます。